

スクリーン選定のポイント -7-

リアスクリーンの仕組み

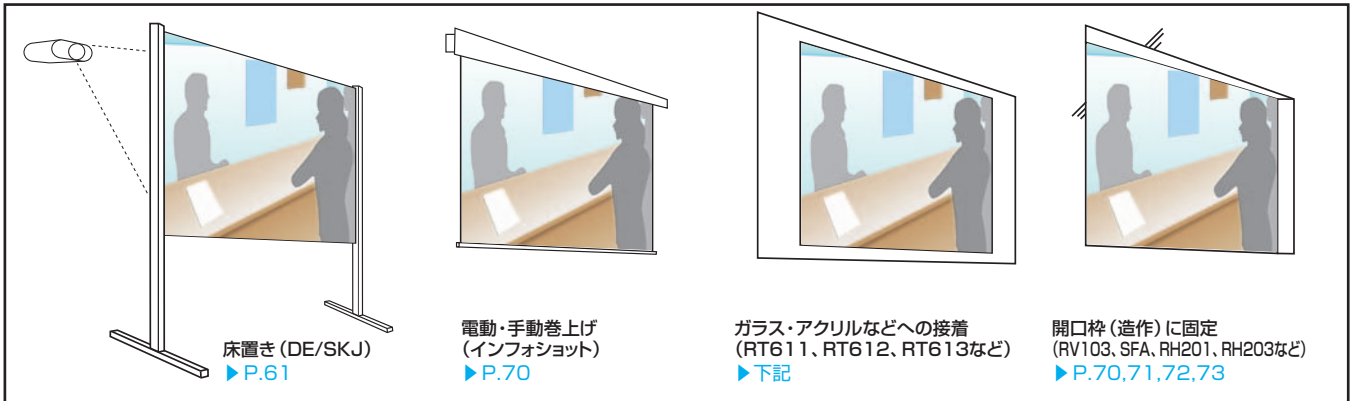
リアスクリーンとは反射光を利用するフロントスクリーンと異なり、スクリーンの裏側に配置したプロジェクターの光を透過して写った映像を、反対側から視聴するスクリーンです。

透過型のスクリーンの為、比較的外光に影響されず視聴できます。蛍光灯を点灯した明るい室内環境下でもフロントスクリーンと比べ鮮明な映像を得ることができます。

特長として、バックヤードに映像機器が配置されますので、映像機器のノイズ音が気にならない事やスクリーンの前面に人が立っても映像が遮断されることがありませんので映像演出を使ったプレゼンテーションツールとして幅広くご利用できます。

リアスクリーンの設置・取付方法

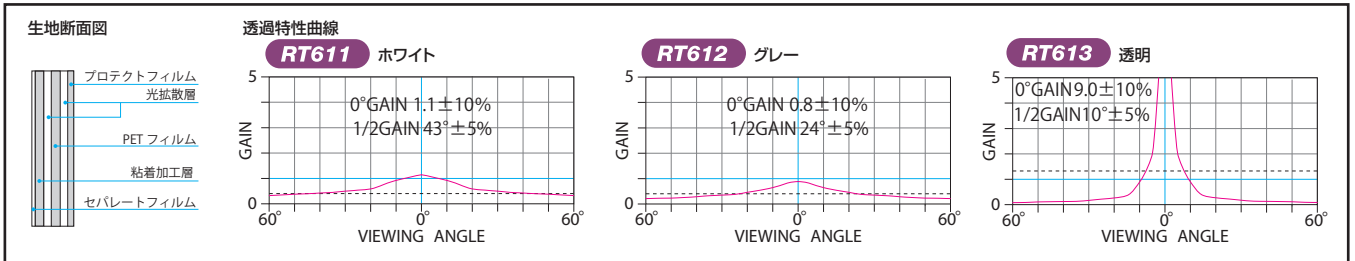
リアスクリーンの取り付けには、フロント投写とは若干異なる設置方法があります。



リアスクリーンの種類

ガラス・アクリルなどへ貼りこむ粘着性リアスクリーン

※巻取り用はP.70「インフォショット」をご覧ください。

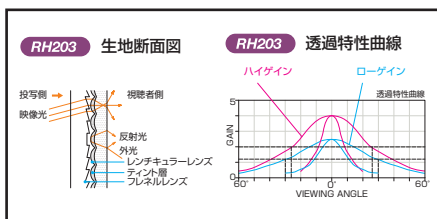
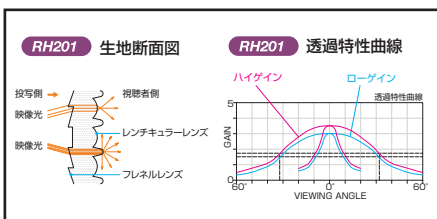
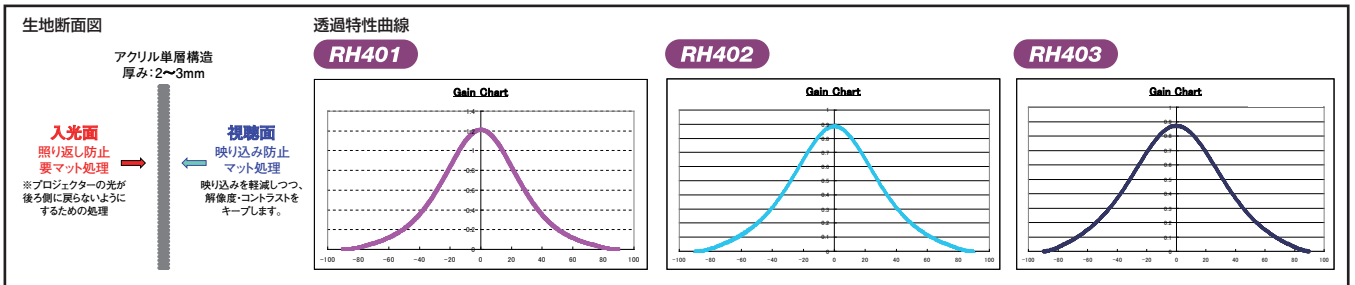


粘着式リアスクリーン型式 SFI

| | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------|--------------------------------|
| NTSC(4:3) 80型 | SFI-080V1-RT611(-RT612,-RT613) | HD(16:9) 80型 | SFI-080H1-RT611(-RT612,-RT613) |
| NTSC(4:3) 100型 | SFI-100V1-RT611(-RT612,-RT613) | HD(16:9) 100型 | SFI-100H1-RT611(-RT612,-RT613) |
| — | — | HD(16:9) 120型 | SFI-120H1-RT611(-RT612,-RT613) |

セミハードコートスクリーン

※製品詳細はP.71をご覧ください。



軟質リアスクリーン
RV103 ▶ P.70